

記

一、爭議開側、動靜

啓日三十日午後一時於大川筋發車並今戸町地芝山谷旅入ロニ
繩場中、駆船ニ集合中、爭議開側約廿名及海友同志會淡草駆
支那南北駆船支那在覆、約廿名ト合ニ水上デヘノ駆行シト、
タルヲ以テ午後一時三十分降級シ余ニタルニ彼等ハ即時解散
ニ鶴田公園シ三々伍々徘徊中午後三時十分海ニ至リ王子駆支
部員約十名、廢動機船羣凡ニテ応援ニ來航セルシ認メ彼等ハ
西ヒ公船ニ乗込ミテ又ラ駆行シトニタルヲ以テ所轄署、警
戒員、乘船ヲ阻止シ西ヒ解散シ余ニタルヲ以テ一同平穏裡ニ
散解セリ

海友組合及海友同志會員ヨリ、利害資金五百余円アリ持父敷
ヲ費悟シ居ル様様ナリ 本月四日前十時頃海友同志會書記
關根徳治ハ會社シ訪レ左、要本書シ事務長木村次ニ手交シ社

長ニ傳達方シ依頼ニ辞去ニタリ

記

- 一、海友同志會ト團体交涉權ヲ認ムルコト
- 二、廣宗ニヨル相害ハ今後會社ニ於テ負担スルニト
- 三、諸手當ハ本總ニ繰入ル、コト
- 四、爭議中ノ日給ヲ支給スルコト
- 五、總對ニ犠牲者ヲ出サヘルコト
- 六、爭議中ノ費用金額ヲ負担スルコト
- 七、通要ホス

昭和六年十月四日

鶴田川機船從業員一同

右代表 關根徳治

鶴田川機船株式會社御中
八、會社側、動靜